

「CNCPアワード2016」募集開始

シビル分野のソーシャルビジネス対象

NPO法人シビルNPO連携プラットフォーム(略称・CNCP、山本卓朗代表理事)は、第1回となる「CNCPアワード2016」の募集を始めた。ベスト・プラクティス、ベスト・アイデアの2部門があり、締め切りは5月31日まで。

選定委員会(委員長・谷本寛治早大教授、委員4人)による審査・選定と理事会での承認を経て決定し、10月の通常総会で表彰する。国土交通省、土木学会、日刊建設通信新聞社などが後援している。

CNCPアワードは、シビル分野におけるソーシャルビジネスの普及を進めるため、社会的課題を解決する事業を顕彰し、広く周知することを目的に実施する。シビル分野とは、広く市民生活にかかわる「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」を対象に、安全・安心、河川・水辺、道路・交通、地域活性化、自然・環境などの事業を通じて、よりよい社会へと改善していく分野を指す。

ベスト・プラクティス賞は、

「ベスト・プラクティス賞」「ベスト・アイデア賞」を表彰

優れたソーシャルビジネスを展開している事業、ベスト・アイデア賞は、ソーシャルビジネスとしての事業企画(アイデア)が対象。それぞれに最優秀賞1点、優秀賞数点を表彰する。

応募に当たっては、両部門とも①社会的課題解決に取り組む事業または活動である②シビル分野における革新的事業である③ビジネスの形態で3年以上継続的に活動している(ベスト・アイデア賞は継続性が期待される)ーことすべての要素を満たす必要がある。

また、応募案件については、社会的課題の解決に取り組むことをミッションとしている(社会性)、ビジネスの形で継続的に活動している(事業性)、新しい商品やサービス提供の仕組みで社会価値を創造している(革新性)をポイントに選定する。

募集要項、応募用紙などはCNCPホームページ(<http://npo-cnnp.org>)からダウンロードできる。応募は電子メール(award@npo-cnnp.org)で受け付ける。